

治安基盤の充実

【担当省庁】警察庁

奈良県における取組

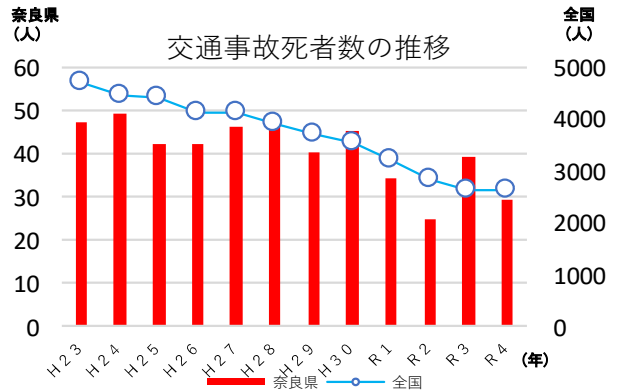
交通安全対策

奈良県における交通事故死者数は、令和4年中29人で戦後統計が残る昭和22年以降で過去2番目に少なくなったものの、交通事故死者数全体の約半数が高齢者となっているほか、薄暮時間帯に発生が集中していることから今後さらに交通事故死者数を減少させるためには、交通事故抑止対策を充実させる必要がある。

よって、交通安全対策を遺憾なく発揮するためには、県内の信号機や横断歩道などといった交通安全施設の計画的な新設や改修等が必要不可欠である。

特に、信号機については老朽化による灯器異常や倒壊の危険性が深刻化しているほか、全国平均を下回る全体の約4割が電球式であることから、電球の生産が中止となる令和9年度を一つの目処として計画的な更新が喫緊の課題となっている。

このため、交通事故抑止対策として、ひいては、「日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現」に向け、交通安全施設の整備を推進しているところである。



LED式信号灯器の整備状況(R4年3月末)

信号制御機更新状況(R4年3月末)

	全国	奈良	滋賀	京都	大阪	兵庫	和歌山
車両用灯器総数	1,262,261	14,657	15,570	23,741	78,921	45,745	12,087
うちLED	869,813	8,430	11,145	15,194	61,572	21,892	10,262
割合	68.9%	57.5%	71.6%	64.0%	78.0%	47.9%	84.9%

	全国	奈良	滋賀	京都	大阪	兵庫	和歌山
信号制御機総数	204,957	1,993	2,273	3,315	11,879	7,200	1,790
うち更新数	8,851	63	85	111	393	386	107
割合	4.3%	3.2%	3.7%	3.3%	3.3%	5.4%	6.0%

国にお願いすること

交通安全対策

第11次交通安全基本計画の目標達成に向け、安全で快適な交通環境を整備するためには、交通危険箇所の改善に加え、老朽化した交通安全施設の戦略的な維持管理・更新が必要であることから、補助対象事業の拡大を要望する。

【県担当部局】警察本部